

10月20日発売『大震災・大災害に強い家づくり、家選び』の本文中に間違いがありました。  
以下、お詫びして訂正いたします。

19ページ

名古屋市・福岡市のマップの凡例が抜けていました

■	震度 6 強
■	震度 6 弱
■	震度 5 強
■	震度 5 弱

61ページの写真のキャプションに誤りがありました。

誤 建築確認が遅れているため、着工が大幅に遅れているマンション用地。名古屋市千種区にて。

正 大きな揺れでも、ひび程度だった新基準の橋脚。2008年8月26日、兵庫県三木市のEディフェンスにて。

106ページ 本文上段後ろから2行目に誤りがありました。

誤 (図39)

正 (図35)

121ページ 写真キャプションに誤りがありました。

誤 高齢者にも配慮がなされた階段(写真左)。バリアフリーは、震災・災害にも奏功する(写真右)

正 高齢者にも配慮がなされた階段(写真右)。バリアフリーは、震災・災害にも奏功する(写真左)

146ページ 写真キャプションに誤りがありました。

誤 昔ながらの建物でみられる独立基礎

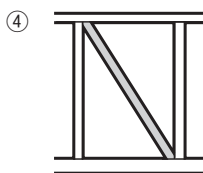
正 土台、基礎、柱脚による緊結

147ページ 写真キャプションに誤りがありました。

誤 ペた基礎を施工したところ。連続した鉄筋コンクリート基礎となっている

正 土台および軸組の地面に近い部分は防蟻処理を行う(北海道、青森は不要)

185ページ 図62の④に間違いがありました。正しい図は下記のものになります。



231ページ 写真キャプションに誤りがありました。

誤 ワイヤーで仏壇と木枠を固定した例。自治体のサービスで無料で取り付けしてもらった。

正 多くの家具が転倒している例。

247ページ 写真キャプションに誤りがありました。

誤 耐震対策のため、1階ピロティ部分を鉄骨で補強したマンション。このケースだと、地震時にも対応可。

正 グラッと揺れたら、「トイレ」へ逃げ込むが安心。ドアを開けておくのを忘れずに。